

大分県の海岸保全基本計画の概要

海岸保全基本計画の概要

大分県では、海岸法及び国の海岸保全基本方針に基づき、海岸を「防護」、「環境」、「利用」の3つの観点から、計画的で調和のとれた海岸保全を行うために「豊前豊後沿岸」、「豊後水道西沿岸」の2つの沿岸について海岸保全基本計画を策定しています。

このうち、「豊前豊後沿岸」については福岡県と共同で策定しています。



県沿岸の海岸保全の基本理念

【豊前豊後沿岸】

○ひとと自然の調和を図り安全で、美しく、いきいきした海岸へ

【豊後水道西沿岸】

○美しい自然とまちが連携し、潤いと活気に満ちた海岸へ

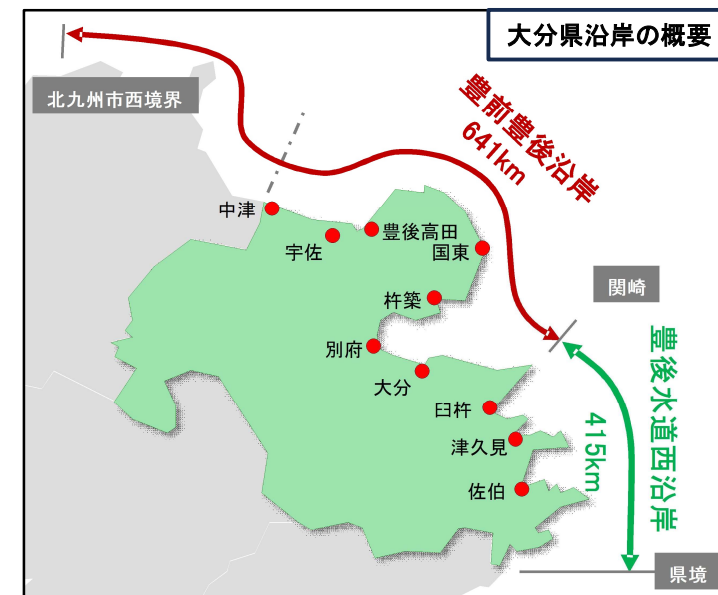
海岸保全基本計画策定からこれまでの改定内容

【これまでの改定】

- ・平成15年 大分県海岸保全基本計画策定
- ・平成27年 東日本大震災を踏まえ、地震津波対策を追加
- ・平成28年 施設の維持・修繕に関する事項を追加

【今回改定】

- ・令和 8年(予定)
気候変動の影響を考慮した対策を追加



真玉海岸



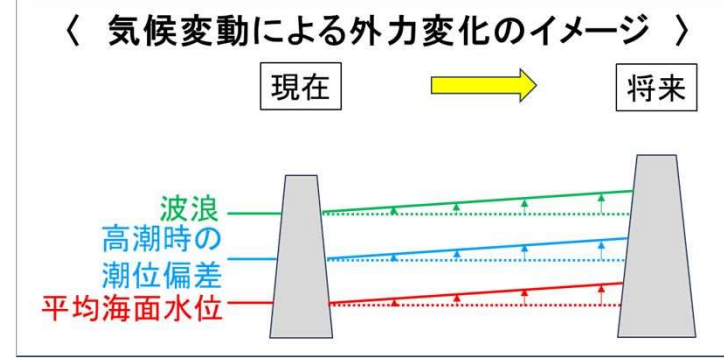
日豊海岸

海岸保全基本計画改定(案)の概要

海岸保全基本計画改定の経緯

「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方検討委員会（国・有識者等）」は、気候変動の影響を明示的に考慮した対策への転換を提言し、これを受け、国は海岸保全基本方針を変更し、気候変動の影響を考慮した海岸の技術的な指針等を示しました。

大分県はこの国の基本方針に基づき、海岸保全基本計画の改定を実施します。



気候変動の影響検討の結果

■計画外力の検討

（パリ協定目標と整合：2100年2℃上昇ケース）

計画外力※

2002年を基準として2100年時点で

- 平均海面水位 0.41m上昇
- 高潮時の潮位偏差※の変化 1.00～1.03倍
- 波浪の変化 1.00倍

■防護水準の検討

今回新たに設定した計画外力をもとに、防護水準を設定。

※計画外力：施設設計の基準となる物理的な力

※高潮時の潮位偏差：台風などの影響で気圧が下がった際の「吸い上げ」による海面上昇

計画の主な改定内容

■序. 海岸の保全に関する基本理念

- ・気候変動の影響を勘案した適切な防護水準の確保を追記。

■Ⅰ. 海岸の保全に関する基本的な事項

- ・計画外力を気候変動の影響を踏まえた設定方法へ変更。
- ・施策の内容に、気候変動の予測精度や施設の老朽化状況等を勘案し段階的な整備を行うことに加え、防護効果の発現を急ぐ場合などは現行計画により整備を行う旨を記載。

■Ⅲ. 海岸保全基本計画の実施に向けて

- ・今後、気候変動に関する新たな知見等が示された場合は、適宜計画の見直しを検討する旨を追記。